

2021/12/17-2

(オマケの英語教室 come, come, everybody) 書庫版



戦後まもなく始まったラジオの英会話教室で流れていた英語の歌が以下となります。

「Come come everybody.

How do you do, and how are you?

Won't you have some candy?

One and two and three, four, five.

Let's all sing a happy song.

Sing trala la la la」

この歌を聴いて驚いたのは、歌詞の中身ではなくこの曲の元のメロディがなんと

「しよ、しよ、しよじよ寺。しよじよ寺の庭は

つん、つん、月夜だ、皆出て、来い、来い、来い

おいらの友だちゃ、ポンポコポンのポン」

であったことです。

どういう発想をすると上の曲と下の曲が結びつくのか？

そういえば、つい前年まで「滅私奉公」「一億火の玉」「撃ちてし止まん」「鬼畜米英」だったはずの我が国で戦後まもなくに、何処をどうするとこんな物が突然飛び出してくるんだというほど突如、笠置シズ子の

「東京ブギウギ」だの「銀座のカンカン娘」だの「超弩級敵製楽曲」であるジャズのメロディを元にした歌が出て来たのか？

この作詞者作曲者は「滅私奉公」「一億火の玉」「撃ちてし止まん」時代はどうやって凌いでいたのか？どんな顔をして周りの目をくらましていたのか？

そもそも笠置シズ子はどんな暮らしをしていたのか？

想像してみるには面白い謎がいっぱい出てきてしまいました。

ですが一つだけ言える事は、聞いているだけで

「何故かとても楽しくなる」

と言うことです。

「元気が出てくる気がする」

事です。

何故なのでしょう、ね？

Why-some (=Don` t know why, but ) I feel GENKI(=fine).

Why?

余談)

因みにカレー屋さんである当店の名前は、ネパール語と英語の組み合わせで

Namaste everybody

「みなさん、こんにちは」

と言う名前です。